

スペースベンFANS公演・ 大黒屋プロデュース『短々面』を観劇して

文／中田絢子（演劇ユニットその場かぎり）

8月14日、21日、28日の三週にわたって、スペースベンFANS公演・大黒屋ぶろでゅーす超短編劇『短々面』を観劇した。

会場ではコロナ対策が徹底されていた。マスクの着用は必須。入場前には手の消毒、検温、コロナ対策システムCODE8への登録が促されるなど、万全であった。席はかなり

間隔をあけて設けられており、15席ほど。隣

と透明なシートで仕切られている席もあった。

一日に上演されるのは、5分前後の短編が5本。すべて一人舞台だ。

舞台の上に切り取られるのは、ちょっと風

変わりな日常や、どこか不思議な非日常。す

れ違うA—Iと人間のおかしみが描かれたかと思えば、昭和の残

り香を漂わせる男の悲哀が切々と語られ、またある時は文学界

の『クズ』を容赦なくさらし上げ、あるいは陽気なマダムが茶目つ気たっぷりに笑いを誘う。

経験豊富な役者たちが、シニカルに、コミカルに、時に切なく、



10月21日【演劇】短々面二幕目「両手」
外館暢子

8月14日、21日、28日の三週にわたって、ス

ちよつとつられていた。

しようもないのに、どこか憎めない。滑稽なのに、なんだか切ない。そんな人生の引き

こもごもを集めて煮込んだ作品群。味付けは濃かつたが、表現力豊かな役者たちがいい味

を出していて、まったく胃もたれすることな

くつるつると楽しむことができた。

新型コロナの流行以降、プロの舞台ですら

次々と休演・中止が決まる中で、なんとなく

『この先生の芝居は息絶えていくのだろうか』という淡い絶望があつた。そんな中で足

を運んだ今回の舞台。人々に感じる生の熱に、「ああ、これだこれだ」と高揚した。お芝居に

携わっていると、時折壁にぶち当たることがある。多分にあ

る。それでも演劇人たちが、決

してめげることなく情熱を

もってお芝居に向き合い続け

るのは、この熱を愛してやまな

いからなんだろうななんて、愛

すべき登場人物たちを観ながら

らそう思った。

人間の一面をあぶり出す。めぐりの題字は出演者の直筆だろうか、目を見張るような達筆だったり、作中に出てくるモチーフがあしらわれていたりと細かなこだわりが見られ、大変味があった。また、週をまたいだ作品同士が実は密かにリンクしていたりと、短編集ならではの仕掛けもおもしろい。

一人舞台なので、芝居は終始架空の相手に話しかける形で進められるのだが、役者の迫真の演技によって、まるで相手がそこに存在しているような、あるいは自分に話しかかれているような錯覚を起こす。バスガイドが『右手をぶらんください』と言った時にはあやしく右を向くところだった。隣の席の人も

座りっぱなしの日々で、すっかり身体がなまつてしましました。腰が痛くて爆発しそう。運動しなくちゃなんと思っていました。今日はもう少しして終わっていきます。人間も機械みたいに、部品を取り替えられたらしいのになあ。

●筆者近況

第64回ダンスバレエリセ 豊島発表会

今年も負けずに全力挑戦!! 新型コロナ予防のために、残念ながら入場制限となる場合がございます。

【日時】10月24日（土）12時半開場・13時開演 【場所】八戸市公会堂文化ホール 【料金】入場無料 【問合せ】ダンスバレエリセ 豊島 ☎ 0178-22-1409



FANS

FRIDAY AMUSEMENT NEGATIVE SHOP
FANS予定▶第1391～1395回

○10月2・9・16・23日 会場設備メンテナンス（入場無料）

○10月30日【かたり場】昆賀子から見たモダンダンスの歴史／出演：昆賀子・加藤健太郎

【WHAT'S "FANS"?】多目的スペース「SpaceBEN」にて、毎週金曜日の夜7時30分から約30分の芝居やダンスやライブを楽しむ企画です。

—— 一般前売500円／大学生以下前売200円（当日それぞれ100円増） ——
公演情報配信ご希望の方は、fans-apply@spaceben.com宛にメールをお送りください。

演劇空間 スペースベン

～演劇好きのための、演劇の場～

*特別番組以外 金曜日は19時30分～、料金は一般前売500円

大学生以下前売200円（当日それぞれ100円増）

*チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい

八戸市柏崎1-11-8 TEL:080-6025-0990 FAX:050-3588-8350
E-MAIL:owner@spaceben.com URL:https://spaceben.com/

